

高等工科学校入校の希望が叶った！

制服姿で御満悦の
奈良田生徒と親御さん

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、4月7日（日）陸上自衛隊武山駐屯地で実施された平成31年度高等工科学校入校式に臨む奈良田 琉飛生徒を激励した。当日は好天に恵まれ、駐屯地の桜も満開の下、会場に訪れた広報官は、まず講堂で実施された式典、続いて生徒達によるパレードでの姿を見学し、その後、親御さんなどと共に奈良田生徒と面会した。奈良田生徒は、「入校できてうれしいです」「友達もすぐできて、仲良くやっていけそう」「頑張ります」などと満面の笑顔で話してくれた。また母親からは「希望していた高等工科学校に入れて本当に良かった、今後が楽しみです」と喜びを隠せない様子であった。担当広報官の石川智太郎2海曹も「これまでの苦勞も吹き飛び、やりがいを感じた」と感慨深げに話した。

上大岡募集案内所は、「今後もあらゆる機会を通じて、入校入隊後の隊員等と連絡を取り合い、受験対象者へ助言してもらう機会を設けるなど、連携して募集に努めていきたい」としている。

自衛官候補生入隊式

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 野田3海佐）は、4月7日（日）、陸上自衛隊朝霞駐屯地で行われた女性自衛官入隊式に参列した。

駐屯地を覆い尽くすほどの満開の桜の下、女性自衛官教育隊に入隊した一般曹候補生及び自衛官候補生の入隊式は、多くのご家族やご来賓が参列し、厳肅な雰囲気の中で執り行われ、入隊者たちは任命を受けると国防の一翼を担う大任を改めて自覚した様子であった。

式典終了後のご家族との懇談では、緊張した面持ちで式典に臨んでいた姿から一転して、久しぶりに再会したご家族たちとの和やかな雰囲気の中で、着隊からこれまでの生活の様子や今後の抱負などを話し、ご家族に安心と期待を与えていた。

自衛官候補生に任命された高野 夏実候補生は、高校3年生の春に学校で広報官から自衛隊の制度説明を受けて陸上自衛隊に志願し、この春、高校を卒業して晴れて陸上自衛隊に入隊した。幼少より空手を習い、高校では演劇部に所属するなど元氣溢れる活発な女子高校生であったが、幼少期から伸ばしていた長かった髪の毛を入隊前日に短く切ると、笑顔が無くなり家族も心配するほど落ち込んでいたようだった。その様子を見ていた父親は、入隊式で高野候補生に会うまでは心配でならなかったが、懇談で再会した高野候補生は入隊前よりも元氣で生き生きとした姿で同期との生活や教育の様子を話してくれた。その姿を見た父親は「自衛隊に入隊して正解でした。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べて喜んでくれた。

高野候補生は「まだ10日間ですが、とても良い同期と班長に囲まれて、毎日がとても充実しています。部隊に配置されたら、母校を訪問して後輩や先生に立派になった姿を見てもらいたいです」と頼もしい言葉を述べてくれた。

厚木募集案内所は、「対象者やご家族に対する親身なつなぎ広報を実施することで、入隊への不安を解消し、信頼を獲得することができた。入隊者の協力の下、母校訪問を行い、今後多くの若者に自衛隊の魅力をPRできるよう募集業務に励んでいきたい」としている。

担当広報官（左）、高野候補生（中）
教育隊の担当班長（右2名）高野候補生（左）と
担当広報官（右）

高校の同級生同士が一般曹候補生として横須賀教育隊に入隊



左から小河原2海士、担当広報官、石鉢2海士

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 野田3海佐）は、4月10日（水）、海上自衛隊横須賀教育隊で行われた一般曹候補生及び自衛官候補生入隊式に参列した。

この日は4月としてはずらしく、今にも雪が降り出しそうな天候であったが、入隊式には多くのご家族やご来賓が参列し、厳肅な雰囲気の中で執り行われ、入隊者たちは任命を受けると国防の一翼を担う大任を改めて自覚した様子であった。

式典終了後の団結式では、ご家族が見守る中、教育分隊ごとに班長たちが気合いの入った自己紹介をし、いよいよ本格的な教育が開始された。

厚木募集案内所から入隊した石鉢 航2海士と小河原 龍輝2海士は、県立大和南高等学校の同級生で、偶然、同じ一般曹候補生の教育分隊に配置をされ、着隊からこれまでの間、互いに励まし合ってきた。

剣道部出身の石鉢2海士は「ずっと憧れていた海上自衛隊に入隊することができました。まだ制服を上手に着こなせませんが、一生懸命学んで、一人前の海上自衛官になれるよう頑張ります」と、また、野球部出身の小河原2海士は「同じ分隊に同級生がいるのはとても心強いです。GWには制服で学校を訪問して、先生や後輩に成長した姿を見せたいです」と、それぞれ頼もしい言葉を述べてくれた。

厚木募集案内所は、「成長した姿を先生方や生徒たちに見てもらうことは、入隊者本人にとっても誇らしく、自信になるはず。入隊者の協力の下、母校訪問を積極的に行い、多くの若者に自衛隊の魅力をPRできるよう募集業務に励んでいきたい」としている。